

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 藤岡市立藤岡鬼石小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
所在地 〒375-1402 群馬県藤岡市鬼石 439
E-mail onishi-es@fujiooka-school.gunma.jp
Website http://10209.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1010011
幼児児童生徒数 男子 46名 女子 54名 合計 100名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

郷土の伝統文化を大切に、心豊かにたくましく生きる児童の育成

鬼石祭囃子を意識して中心とした地域素材に目を向け、地域の良さや伝統の良さに気づき、鬼石に誇りを持ち、地域の良さを広め、地域の発展のために力を尽くす児童を育成する。

- 地域の伝統行事である「鬼石夏祭り」を意識してはじめとする地域素材について調べて、まとめ、発表することで、より深く地域を理解するとともに、多面的・総合的に考える力を身につけ、地域の良さや伝統芸能の良さに気づき、地域に愛着を持つことが目的である。
- 「鬼石夏祭り」に実際に参加し、太鼓を演奏したり、運動会で大勢の観客の前で「祭り太鼓」を披露したりすることにより、他者と協力する態度や地域の行事に進んで参加する態度を身につけ、「鬼石夏祭り」に対する思いを聞き手に伝わるように表現する力を高める。

○ 5年生総合的な学習の時間（15時間）

「鬼石夏祭りを調べよう」

- ・講師による講義や地域住民へのインタビューを通して、鬼石夏祭りの歴史・伝統・お囃子・山車・服装・人々の思いなどを知る。また、観光パンフレット、町史、広報誌などの資料や映像をもとに調べ、まとめ、発表する。

○ 6年生総合的な学習の時間（20時間）

「鬼石夏祭りをアピールしよう」

- ・鬼石夏祭りの山車、服装、太鼓、笛、鐘などの実物の見学や調査などでテーマに沿った事柄を調べ、まとめ、発表する。
- ・地域の方から祭り囃子を教えていただく。
- ・運動会や学習発表会で披露する。



太鼓の練習風景



運動会での太鼓を披露

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

・「鬼石夏祭りお囃子集」と歴史

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- 5年生総合的な学習の時間（15時間）

「鬼石夏祭りを調べよう」

・講師による講義や地域住民へのインタビューを通して、鬼石夏祭りの歴史・伝統・お囃子・山車・服装・人々の思いなどを知る。また、観光パンフレット、町史、広報誌などの資料や映像をもとに調べ、まとめ、発表する。

- 6年生総合的な学習の時間（20時間）

「鬼石夏祭りをアピールしよう」

・鬼石夏祭りの山車、服装、太鼓、笛、鐘などの実物の見学や調査などでテーマに沿った事柄を調べ、まとめ、発表する。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

・地域の夏祭りでの祭り囃子太鼓の披露のために、6年生全員を各地区の各コミュニティセンターに割り振り練習をする。
・クラブ活動で、太鼓クラブを作り、地域の方に協力してもらって指導している。
・祭り囃子保存会との連携のために、教頭を中心に連絡調整に当たっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

評価は特に行っていない

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

学習活動を学校の Web ページで紹介したり、運動会や学習発表会で披露したりした。保護者、地域に学校の取組を知ってもらうよい機会となっている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

鬼石祭り囃子保存会の方々と連携協働して取り組んでいる。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

なし。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

- ・ 地域の伝統である夏祭りや祭囃子太鼓の文化に関心をもち、それらに誇りを感じる児童が増えている。
- ・ 児童に指導してくれている祭り囃子保存会の地域の人も、児童が熱心に取り組む様子から、地元の教育のためこれからも協力を約束してくれている。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

第5学年、総合的な学習の時間「鬼石夏祭りを調べよう」をユネスコスクールの活動と位置づける。

地域の伝統文化である。「鬼石祭り」について調べたり、講師による講義や地域住民へのインタビューを通して、鬼石夏祭りの歴史・伝統・お囃子・山車・服装・人々の思いなどを知る。また、観光パンフレット、町史、広報誌などの資料や映像をもとに調べ、まとめ、発表することにより、地域の伝統文化に誇りを持ち、愛情を育てることをねらいとする。

第6学年、総合的な学習の時間「鬼石夏祭りをアピールしよう」をユネスコスクールの活動と位置づける。

5年生で調べたことを基に、さらに詳しく鬼石夏祭りの山車、服装、太鼓、笛、鐘などの実物の見学や調査などでテーマに沿った事柄を調べ、まとめ、発表する。また、地域の方から祭り囃子を教えていただき運動会や学習発表会で披露することにより、地域の伝統文化に誇りを持ち、愛情を育てることをねらいとする。